

Q. ふだんは活発なクラスですが、外国語活動になるとゲームなどの活動に熱心に参加する児童が少なくなってしまうようです。どうしたらよいでしょうか。

A **まず、次のことについて振り返ってみてください。**

① ゲームの内容は児童の学びのレベルに適したものでしたか？

英語での表現とはいえ、内容が学びのレベルに合わないものは、児童の興味・関心をひきつけられません。高学年になるほど、ゲームの内容が幼すぎると興味がわかず、積極的な参加は期待できないでしょう。

② 児童がゲームの「ねらい」や「やりかた」についてしっかり理解していましたか？

外国語活動で配慮すべきことは、児童が「間違ったらいやだ」という気持ちから、英語で表現することに消極的にならないようにすることです。英語を用いたゲームでは、そのゲームのねらいをきちんと伝え、やりかたについて十分理解させた上で行うことが大切です。

③ ゲームを行う前の練習はきちんとできましたか？

児童一人一人がゲームの「ねらい」や「やりかた」についてしっかり理解したかどうかを確認するためにも、ゲームを行う前の練習は欠かせません。

④ ペアやグループをつくるにあたり、能力やまとめ役となれる児童の配置などに配慮できましたか？

ゲームをするうえで、児童のコミュニケーションも大切です。グループの中に、ゲームを楽しむことができる児童がいれば、その児童が他のメンバーに説明したり、英語が苦手な児童を助けたりして活発な活動につながることも期待できます。

このようなことについて振り返り、改善できるところは改善して再度チャレンジしてみましょう。

アドバイス

ゲームは児童の学習意欲を高めるだけでなく、英語の発音・語彙・表現に慣れ親しむ練習の場です。ゲームを行うねらいがはっきりしていないと、単なる競争に終始してしまい、意味のない活動になってしまいます。競争意識が強くなると、勝敗に夢中になって日本語がつい口から出てきてしまい、英語に慣れ親しむ絶好のチャンスが無駄になってしまいます。ゲームを行うときは、必要な文脈で、“Excuse me.” “Thank you.” などの表現をしっかり使わせることが大切です。また、既習の英語表現“Are you ready?” “Hurry up!” “I won!” を使いながら先生も一緒に、みんなでゲーム活動を楽しみましょう。